

「質の高い教師の確保のための教職の魅力向上に向けた環境の在り方等に関する調査研究会」について

令和5年1月18日
第138回初分科会
参考資料 2

1. 趣旨

多様化、教育DX、少子化等の社会変化を踏まえ、新たな学校教育が求められており、それを担う質の高い教師の確保のため、教職の魅力向上を図る必要がある。こうした中で、学校における働き方改革の様々な取組と成果等を踏まえつつ、令和4年度の教員勤務実態調査の結果等を踏まえ、給特法等の法制的枠組みを含めた処遇等の在り方を検討することとなっている。

令和5年春頃に予定される速報値の公表等の後の円滑な検討に資するため、給特法等の関連する諸制度をはじめとする検討事項に係る所要の情報収集や論点整理を進める必要があることから、有識者や教育委員会・学校関係者により構成される「質の高い教師の確保のための教職の魅力向上に向けた環境の在り方等に関する調査研究会」(初等中等教育局長決定)を設置する。

2. 検討事項

教員勤務実態調査の結果等を踏まえた円滑な検討に資するよう、以下の事項に係る諸外国の状況を含む情報収集や論点整理を進める。

- (1) 給与面、公務員法制・労働法制面の在り方について
- (2) 学校における働き方改革に係る取組状況や学校・教師の役割について
- (3) 学校組織体制の在り方等について
- (4) その他

3. 調査研究協力者

青木 栄一	東北大学大学院教育学研究科教授
植村 洋司	東京都中央区立久松小学校長 (全国連合小学校長会調査研究部長)
鍵本 芳明	岡山県教育委員会教育長
川田 琢之	筑波大学ビジネスサイエンス系教授
齊藤 正富	東京都文京区立音羽中学校長 (全日本中学校長会総務部長)
(座長) 貞広 斎子	千葉大学教育学部教授
戸ヶ崎 勤	埼玉県戸田市教育委員会教育長
藤原 文雄	国立教育政策研究所初等中等教育研究部長
善積 康子	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 政策研究事業本部 研究開発第1部 (大阪) 主席研究員

4. スケジュール

令和4年12月20日	第1回会合 以降、委員ヒアリング等
令和5年春頃	論点整理